

県 外 派 遣 報 告 書

(一社)栃木県バスケットボール協会 審判

大会名	第1回全日本社会人バスケットボール地域リーグチャンピオンシップ			開催地	群馬県高崎市			
報告者名 (所属連盟)	武井晋平 (社会人)			派遣期間	平成 31年	2月	8日 ~	11日
参加者	久保裕紀	東京	水木順仁	秋田県	東田憲和	滋賀県	佐田明美	大分県
	針生淳男	東京	土門亮太	山形県	田中智也	京都府	川島 司	宮崎県
	中嶽希美子	千葉	古川俊和	福島県	細見竜太	大阪府	隈元ゆみこ	鹿児島県
	中江洋美	石川	大野太裕	茨城県	生島 匡	兵庫県	仲間芳幸	沖縄県
	村田尚美	大阪	石崎公一	群馬県	笹川宏子	奈良県	近藤 巧	北海道
	阿部聖	北海道	小原宏太	埼玉県	栗山一平	和歌山県	山田 俊	宮城
	漆間大吾	東京	山崎敬次郎	千葉県	康 鳳真	鳥取県	小川裕之	秋田
	和嶋陽一	東京	望月直幸	東京都	豊田康平	島根県	白川義一	東京都
	守谷圭介	愛知	廣瀬俊昭	神奈川県	柏木琢磨	岡山県	坂 美佑紀	茨城
	黒岡和哲	大阪	手塚清孝	山梨県	市川雄介	広島県	濱 雄介	東京都
	柳生志乃	兵庫	鈴木 誠	長野県	有澤優子	山口県	廣瀬 渉	東京都
	北沢あや子	大阪	早川貴章	新潟県	七種 徹	徳島県	梅田 香	福井県
	阿部陽子	愛媛	上田遼馬	富山県	藤田公介	香川県	吉田知実	長野県
	宇田津浩史	愛知	箱崎敬知	石川県	二宮光司	愛媛県	浅野慶太郎	静岡県
	本間さとみ	東京	浮池亮太	福井県	竹島則夫	高知県	中根俊彦	愛知県
田中 充	北海道	大豆村斉	岐阜県	柿原 実	福岡県	茅野修司	大阪府	
成田康平	青森県	河合拓治	静岡県	小川智弘	佐賀県	板井優哉	鳥取県	
及川 学	岩手県	太田匡俊	愛知県	山口勝真	長崎県	山住泰光	広島県	
川熊 俊	宮城県	山本雄大	三重県	井元 誠	熊本県	山中萌衣	鹿児島県	

【審判研修会内容】

講師：久保裕紀氏

テーマ1：3or2

- ・3ptsのアテンプトに対して → ピーク(フラッシュ)を2点なのか3点なのか はっきり示す習慣を身に付ける。
- ・パートナーが必ず確認できているとは限らないことを前提とする。
- ・TOからの目線
 - 3人がはっきりと示していれば、TOも安心
 - 会場や、体育館によって、表示が見つらいときもある。
 - 何気なく上げているのではダメ
 - ◆意識してやっても間違いや勘違いは起こる → 約束を守って、習慣でやっていく
 - ◆ポンプフェイクのショット時に起きやすい
 - ◇自分が確認できなかったものを憶測で示すことはしないことが重要

↓
3or2のところでは、スクリーンが起きている

テーマ2：SCREEN

- ・スクリーンには、表と裏がある
 - ◇チェックイン(スクリーンの受け手側)
 - ◆チェックアウト(スクリーンの送り手側)
- ・スクリーンは1度とは限らない → スクリーン、リ・スクリーン
- ・オンボールスクリーンからのサドンショットの見方
 - Tは、「Foot(3or2確認) ・ Up(見上げる) ・ LANDING(着地点を確認)の見方でショットを捉える
- ・3POの一番弱いところは、ストロングサイド(ポールサイド)のハイポスト
 - Cからの判定が重要。

まとめ・・・

- ・見た情報をはっきり示す
- ・パートナーが必ずしも自分が持っている情報を共有しているとは限らない
- ・プライマリ、セカンダリ、表・裏(アングル)を理解することで、正しい判定に繋がることを知っておくことが大切。

最後に

- ◇クルーのコミュニケーションの重要性
 - ・パートナーが捉えたものの中身が違っても考えられる。コミュニケーションは“必ず言葉”に出して共有
 - ・パートナーに共有 → アシスト
 - ◆コミュニケーションの大事なポイント
 - ・「見たもの」、「判断したもの」を「正直に」、「嘘や言い訳をしない」 → わからないものはわからない。憶測で話さない。→トラブル防止

【感想・県内審判員へ伝えたいこと】

今回が初開催となった地域リーグのチャンピオンシップですが、これまでの全国実業団大会ということで、選手、チームともにレベルが非常に高い大会でした。研修会は、講義と実技が行われ、3時間充実した研修を受けることができました。上記に書いた講義を実際にコート上で選手に協力をいただき実践できたことは、本番前また今後の活動に非常に役立ちました。3vs2やスクリーンの見方については、これから様々なケースに行き当たると思うので、今回の研修で得たことを振り返り、さらに精度を上げていくとともに、県内審判員へ伝えて行きたいと思っております。今回の派遣に際しまして、渡邊審判長をはじめ、県内の皆様の様々なご配慮、ご協力に感謝いたします。最後に、JSBそして地元群馬県の皆様には4日間大変お世話になりました。心より感謝を申し上げます。

県外派遣 審判ミーティング記録表

割当日:平成 31 年 2 月 9 日

審判員名	武井晋平	相手審判	CC生島匡(兵庫)、U2星河聖(群馬)
カード	厚生倶楽部	対	佐賀BALLOONERS
◇ ミーティングの内容			
・メカニクスについてはスムーズにローテーションができており、気になることは無かった。			
・T→Lの際にCとのアイコンタクトができていたのを感じた。			
・EOQの際に、メインロックは誰が管理するのか。二人で鳴ってしまっているケースがあったので確認。			
・外国人選手に対するディフェンスには、もう少し気を配ってあげても良かったのでは。			
《審判主任》 茅野修司氏(大阪)			

割当日:平成 31 年 2 月 10 日

審判員名	武井晋平	相手審判	CC井本誠(熊本)、U2藤田公介(香川)
カード	ST-IWATE	対	三井住友海上火災
◇ ミーティングの内容			
・全体的には、ローテーションもスムーズで良かったと思う。			
・プライマリに任せてもいい判定があった。無理に行かなくてもセカンダリで捉える。			
・Cが積極的に判定をしていた。			
・研修会でのテーマである3vs2について、クルーで意識して確認している姿が見受けられた。			
《審判主任》 浮池亮太氏(福井)			

割当日:平成 31 年 2 月 11 日

審判員名	武井晋平	相手審判	廣瀬渉(東京)・太田匡俊(愛知)
カード	今治オレンジブロッサム	対	アステム湘南ウィクトリアス
◇ ミーティングの内容			
・スクリーンプレーについて、クルーでゲームの出だしから笛を入れていたため、意識しているのを感じた。			
・ゲーム中、足を引っかけたような現象のときにクルーで寄り、UFにグレードを上げるかどうか確認していたが、クルーの連携が取れていたと思う。			
・Lの際のローテーションが遅かったり、逆に早かったりして、ポールサイドにローテーションしたときには、逆にボールが進んでしまっていることがあったため、クローズダウンポジションでプレーを見極めたのち、ローテーションするかの判断をした方が良かった。			
《審判主任》 穂川苑子氏(群馬)			